

H24年度総合評価(産業観光課所管施設)				
施設名	産業文化センター	美濃焼ミュージアム	文化工房	勤労者センター
指定管理者名	(株)ビーウェル	(公財)多治見市文化振興事業団	(株)共栄電気炉製作所	(公財)多治見市文化振興事業団
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	3年(H24/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	3年(H24/4/1～H27/3/31)
設置目的	産業及び生活文化に関する事業の実施及び生活情報等の提供により、産業の振興を図り、市民の生活文化の向上に寄与するための施設。	美濃焼の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、広く一般への公開、周知により、市民文化の向上及び産業振興に資するための施設。	ものづくりと人の交流の場の提供を通して、来訪者の誘致を促進し、中心市街地の活性化に資するための工房・ギャラリー。	勤労者の福祉の増進を図るための施設。
報告書類等の提出状況	良好	良好	若干不備あり	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	期待以上
	市事業の実施	良好	—	—
	自主事業	若干不備あり	期待以上	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	74,255,172	31,113,944	30,198,639
	内利用料金収入	12,558,272	2,243,510	1,154,725
	内指定管理料	61,000,000	27,441,000	17,725,000
	支出	72,316,040	23,548,823	28,865,842
	収支	1,939,132	7,565,121	1,332,797
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好
全体的評価	良好	良好	良好	良好
	全体的に適正に管理がされている。	当館は岐阜県から多治見市に移管され、平成24年度より新たに指定管理者による運営が始まった。積極的なPR活動やホームページの充実など指定管理者の運営努力の結果、入場者数の増加が見られる。	全国の著名な陶芸家を招いて魅力ある企画展を開催している。企画展ごとに行うシンポジウムでは毎回150～200人の聴講者があり、年間の来場者数も20,000人以上の高水準を維持しているなど、やきもののまち多治見の観光拠点の一つとして有効に機能している。 また、「アートフェア東京2013」出展やヴィクトリア&アルバート美術館(イギリス)への作品納入など、国内全域や海外に向けても当地の現代陶芸の水準の高さを発信する役割をも果たしている。	概ね良好である。 常にきちんと清掃されており、施設内が明るく感じられる。ロビー展も活発に行われており、利用率アップにつながっている。
利用人数・前年度比増減率	延べ85,666人 (前年度比1.7%増)	延べ10,962人 (前年度比—)	延べ22,192人 (前年度比1.3%増)	延べ25,469人 (前年度比8.7%増)
増減の理由	会議室等の利用人数の増加による。	※平成24年度指定管理開始施設	特になし	ロビー展等の取り組みの成果などによるもの